NIE実践報告

1．タイトル：☆日々の学習に新聞を

2．学校名

大阪府大阪市立玉出中学校

3．実践者名（代表者名）

河野　美穂

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間等　105人

6．単元（本時の学習課題）名

「感謝」・「ありがとう」を探そう

7．目標（狙い）

文化発表会のテーマ「感謝～日常の中のありがとう」にのっとり、新聞記事の中から「感謝」・「ありがとう」を感じる記事を探し出す、記事に書かれている内容を読み取る、物事について深く感じる・考える、自分の意見を述べる

8．評価の視点

記事の内容を読み取り、必要な情報を探し出せたか。また、記事を読んで感じたこと・考えたことを適切に表現することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

意見文の作成　(総合的な学習の時間　5時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)「感謝」・「ありがとう」を感じる記事探し(2時間)
(2)意見文の作成(2時間)
(3)展示発表用清書(1時間)

(留意点)
・ストックしておいた2か月分の新聞を各クラスに60部程度ずつ配布し、記事探しを行った。
・自分が選んだ記事について、なぜその記事を選んだのか、どこに「感謝」・「ありがとう」を感じたのかについて、意見文を作成した。
・作成した意見文は、画用紙に大きく清書し、文化発表会で展示発表した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

きちんと新聞を読んで記事を選べるだろうか、新聞を読まずに遊びだす生徒が出て教室内が騒然とするのではないかなどの心配があり、昨年度まではこちらが選んだ記事を読ませていたが、結果として心配は無用であった。

12．成果と課題

生徒に記事を選ばせ、主体的に読ませるという形がとれたことは、今年度の大きな成果である。クラスの友達と意見を交わしながら記事を読んだことは生徒にとっても新鮮だったらしく、「また読みたい」「新聞、読んでみたらおもしろかった」「自分で選んだほうが、意見を書きやすい」などの声が聞かれた。ただ、何かのテーマについて考えさせたいときにはこちらが記事を選んで提示することも必要だと思うので、今後は両方の形を取り入れて実践していきたい。

NIE実践に対する生徒の感想はほとんどが好評で、「新聞を読むといろいろなことが分かるからいいと思う」